

4Kp60 ビデオサーバ  
H.265/H.264 デコーダ UHVS-1700



取扱説明書

---



株式会社STRASSE

## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や 財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく 理解してから本文をお読みください。

**警告**

記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・火災におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあること。

**警告**

- **本機は、本機付属のACアダプタ、付属ケーブル以外を接続して使用しない。**  
火災や故障の原因になります。本機付属のACアダプタ、付属ケーブル以外は接続しないでください。
- **本機付属のACアダプタに他の機器に接続しない。**  
ACアダプタが過負荷状態になると、過熱や火災の原因となります。
- **本機付属のACアダプタに複数の機器を接続しない。**  
ACアダプタが過負荷状態になると、過熱や火災の原因となります。
- **機器内部に、水や異物を入れない。**  
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電 の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。火災や故障の原因になります。
- **故障や異常な状態のままで使用しない。**  
映像が表示されない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭が する場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- **分解・修理及び改造はしない。**  
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。
- **コードの扱いに注意する。**  
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因 となることがあります。

# 目次

1. はじめに.....	4
マニュアルについて .....	4
機能.....	4
同梱物.....	4
各部の名称と働き.....	5
2. 電源投入 .....	7
3. 設定について .....	8
・ Video & Audio.....	9
・ ネットワーク .....	13
・ イベント.....	23
・ 録画 .....	27
・ デバイス.....	30
・ PTZ .....	31
・ ユーザー .....	33
・ システム.....	35
4. LIVE VIEWについて.....	41
付録 A : センサーポートとアラームポート.....	45
付録 B : シリアルポート.....	47

# 1. はじめに

## マニュアルについて

この取扱説明書には、ビデオサーバのインストール、セットアップと操作方法のほか、トラブルシューティングに関する情報が記載されています。

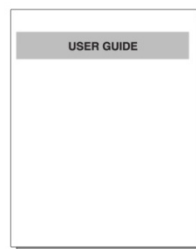
## 機能

ビデオサーバは、LANを介したIPネットワーク上で、音声および映像を伝送する機器です。  
ビデオサーバUHVS-1700は、エンコードされたデータを、デコードする機能を有しています。  
※エンコード機能は有していません。

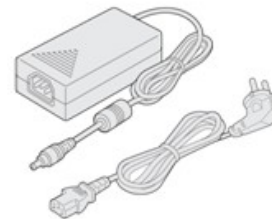
## 同梱物



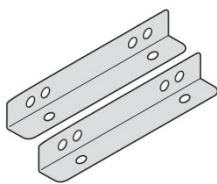
ビデオサーバ本体  
UHVS-1700



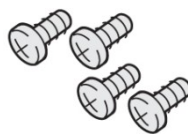
クイックマニュアル  
英語



専用AC アダプタ



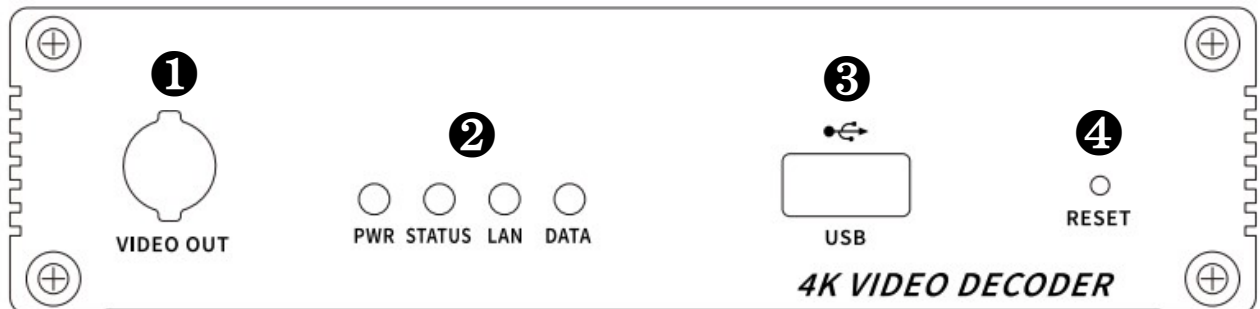
本体取付用ブラケット



ブラケット取付ネジ

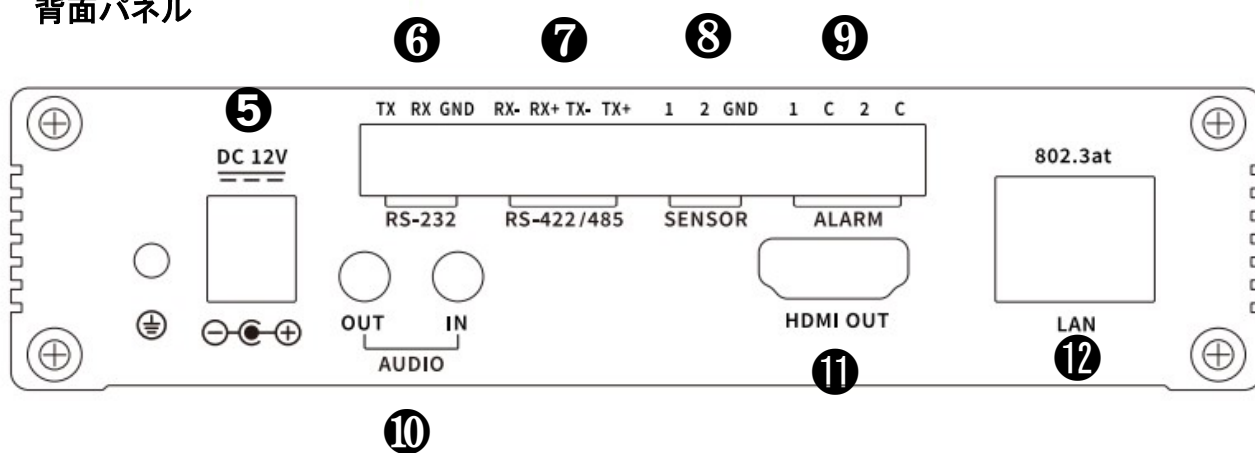
## ・各部の名称と働き

### 前面パネル



No.	Parts	Function(機能)
①	VIDEO OUT	BNCコンポジット OUT (NTSC/PAL)
②	PWR LED	赤色点灯→電源ON 消灯→電源OFF
	STATUS LED	緑色点滅→正常動作 赤色点灯→動作異常
	LAN LED	緑色点灯→エンコーダと接続成功 赤色点滅→エンコーダと接続中 橙色点灯→エンコーダ接続異常
	DATA LED	消灯→エンコーダと未接続 緑色点灯→データ通信中 赤色点灯→データ通信失敗 消灯→データ通信なし
③	USB	USB接続ストレージ接続用USB3.0ポート
④	RESET	リセットボタン STATUS LEDが緑色点滅から緑色点灯になるまで押し続け、はなすとIPアドレス及び ID/PASSWORDがリセットされます。 リセット後のID/PASSWORDはadmin/1234になります。

## 背面パネル

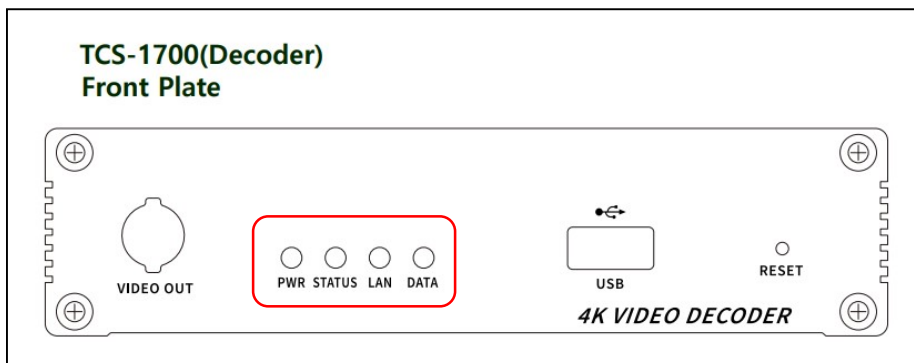


No.	Part	Function
⑤	DC 12V	DC +12V ACアダプタ接続端子
⑥	RS-232	PTZカメラコントロール等 RS-232接続端子 音声 入力/出力端子
⑦	RS-422/485	PTZカメラコントロール等 RS-422/485接続端子
⑧	SENSOR	センサー入力端子
⑨	ALARM	アラーム出力端子
⑩	AUDIO OUT/IN	音声 入力/出力端子
⑪	HDMI OUT	HDMI 出力端子
⑫	LAN 802.3 at	1000/100/10-base-T Ethernet 端子 ※PoE (IEEE802.3at) 電源供給可能

## 2. 電源投入

### ・動作状況の確認

ビデオサーバに電源が供給されると、起動プロセスが開始します。約40～60秒後に動作モードに移行します。STATUS LEDが緑色に点滅すると、システムの準備正常に完了したことを示します。



### ・ LED 表示の説明

システムの状態を前面パネルの4個のLEDで確認する事が出来ます。

LED	表示	状態
PWR	消灯	電源OFF
	赤色点灯	電源ON
STATUS	緑色点滅	正常な動作
	赤色点灯	動作異常
LAN	緑色点灯	エンコーダと接続成功
	赤色点滅	エンコーダと接続中
	橙色点灯	エンコーダ接続異常
	消灯	エンコーダと未接続
DATA	緑点灯	データ通信中
	赤点灯	データ通信失敗
	オフ	データ通信無し

### 3. 設定について

Webブラウザを利用して機器の設定を行います。Webブラウザを起動し、デコーダのIPアドレスをアドレスバーに入力してください。

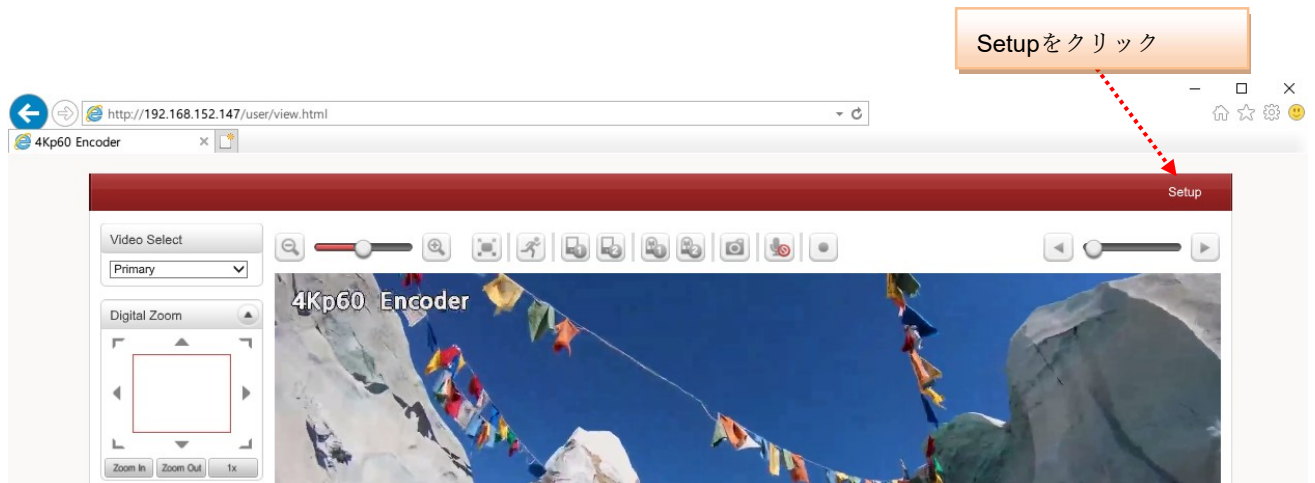
- 弊社出荷時初期 IPアドレス:192.168.10.100

IDとパスワードを入力するウィンドウがポップアップしますのでID/パスワードを入力してください。

- 弊社出荷時初期 ID:admin
- 弊社出荷時初期 パスワード:Admin1234

**※リセットボタン及び工場出荷時の設定に戻した場合は  
パスワードが1234になります。**

ライブビュー画面が表示されます。右上のSetupをクリックして設定モードに進みます。



#### ・設定モードについて

設定モードは8カテゴリあります。

1. Video & Audio
2. ネットワーク
3. イベント
4. 録画
5. Device
6. PTZ
7. ユーザー
8. システム

**※設定変更後、各設定モードの画面最下段の[適用]をクリックする必要があります。**

## 1. Video & Audio

### [Information]

ビデオ	アルゴリズム	ビットレート	フレームレート
Video Ch#1 Decoding	H.264	13447 (kbps)	48 (fps)
Video Ch#2 Decoding	H.264	16744 (kbps)	61 (fps)
Video Ch#3 Decoding	H.264	5938 (kbps)	23 (fps)
Video Ch#4 Decoding	H.264	10875 (kbps)	38 (fps)

オーディオ	有効	アルゴリズム	Sampling Rate	ビットレート
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	66 (kbps)
Audio Decoding	On	-	-	0 (kbps)

インフォメーションには映像と音声の設定に関する最新情報が表示されます。

### [オーディオ]

#### ➤ Audio Source

オーディオソースの選択: Analog Mic IN 固定

#### ➤ アルゴリズム

オーディオアルゴリズムの選択: G.711 又は AAC

G.711およびAACは双方向音声通信がサポートされています。

#### ➤ Sampling rate

AACが選択されている場合のみ選択可。(選択肢: 32Khz,44.1Khz,48Khz)

#### ➤ ビットレート

AACが選択されている場合のみ選択可。(選択肢 32Kbps,64Kbps,128Kbps,192Kbps)

※エンコーダと、デコーダの音声アルゴリズムを同一に設定しないと、正しく音声を送信されません。

## ➤ モード

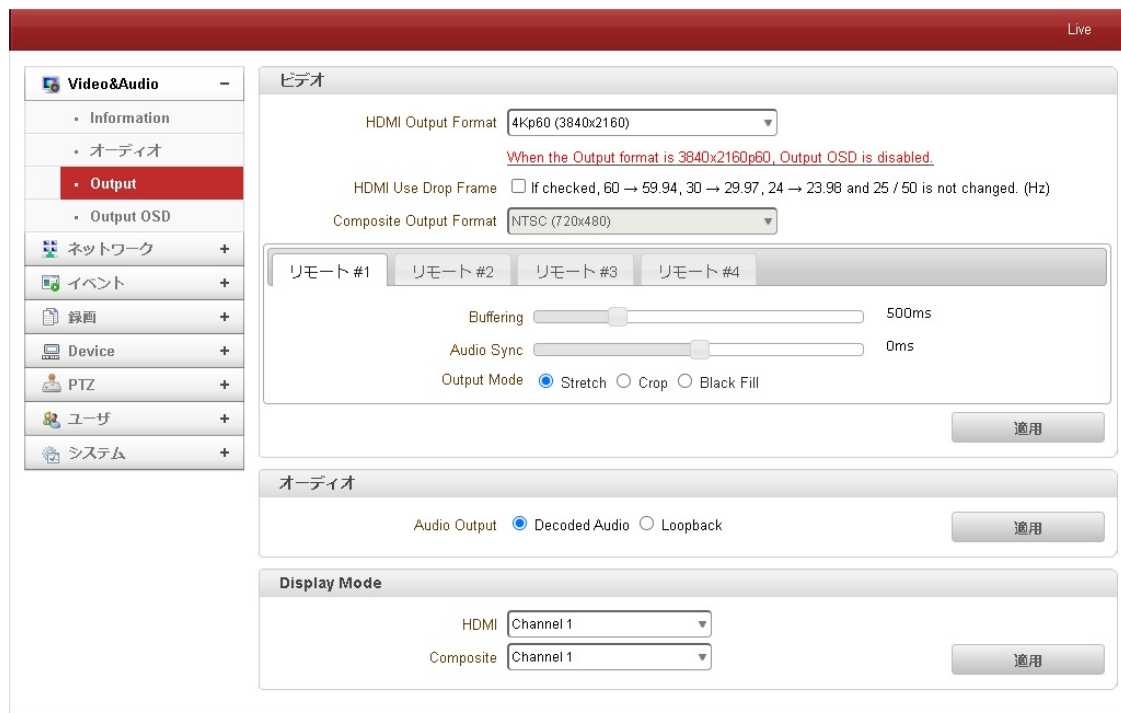
オーディオ操作モードの選択

Mode	Action
Off	動作しない
送信のみ	送信のみ
受信のみ	受信のみ
送受信	送信と受信

## ➤ 音声入力調整 (Input Gain)

音声入力のゲインです。0~31の値でゲイン調整します。

## [Output]



## ➤ HDMI Output Format

HDMI 出力フォーマットを選択します。(解像度, フレーム)

## ➤ HDMI Use Drop Frame

チェックを入れた場合、60Hzが59.94Hz、30Hzが29.97Hz、24Hzが23.98Hzとなります。

## ➤ Duplicate HDMI to Composite

HDMI出力をコンポジットに複製するかのON/OFFを選択します。

## ➤ Composite Output Format

HDMI出力フォーマットの設定値に応じて、コンポジット、SDIの出力フォーマットが決定します。

※自動選択で変更できません。※HDMI出力フォーマットの選択値によっては表示されません

➤ **Buffering**

バッファリングするビデオフレーム数を設定します。値を大きくすると、遅延しますがより滑らかな映像が得られます。0ms～2000msで設定できます。

➤ **Audio Sync**

もし音声信号が映像信号と同期していない場合は音声遅延時間を映像信号に合わせて調整します。オーディオ遅延時間は-1000msから1000msの間で設定できます。

➤ **Output Mode**

映像の出力モードを選択します。ストレッチ、クロップ、ブラックフィルが選択出来ます。

➤ **オーディオ Audio Output**

オーディオ出力：デコードオーディオとループバックの選択が出来ます。

➤ **Display Mode HDMI Composite**

HDMI及びCompositeに出力する画面配置、画面数を選択します。

## [Output OSD]

The screenshot shows the 'Video & Audio' settings window with the 'Output OSD' tab selected. The interface is divided into several sections for configuring On-Screen Displays (OSD).

**User-defined Burn-in OSD**

No.	String	X-Coordinate (0~1000)	Y-Coordinate (0~1000)	フォント サイズ (12~84)	Color	有効
1		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
2		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
5		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
6		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
7		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
8		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.  
Reserved keyword will be replaced (%RA% -> Remote Address)

**Operation OSD**

	Wait Time	Display	User OSD
At Disconnect	3 Sec	Freeze	Off
At Video Loss	3 Sec	Freeze	Off
At No Data	3 Sec	Freeze	Off
At Try Connecting	3 Sec	Freeze	Off

**Current State OSD**

State OSD	X-Coordinate (0~1000)	Y-Coordinate (0~1000)	フォント サイズ (12~84)	Color	有効
Decoding State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Recording State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Local SystemID	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Time	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>

**User-Bitmap OSD**

OSD Enable: Off

**Information OSD**

Enable: Off

適用

➤ **User- Defined Burn-in OSD**

ビデオにビットマップ画像をアップロードしている間、OSDを有効または無効にすることが出来るようになりました。X座標、Y座標は数値により調整可能です。ビットマップイメージをアップロードすることが出来ます。

➤ **Operation OSD**

切断、ビデオロス、ノーデータなどのイベントが発生した場合、OSDで【User Define Burn】を選択し、待ち時間と表示(Freeze、Black Screen、Blue Screen)を選択することが可能です。

➤ **Current State OSD**

現在の状況を表示することが出来ます。

➤ **User Bitmap OSD**

ビットマップファイルのアップロードが可能です。

➤ **Information OSD**

位置、フォントサイズ、色、Windowsカラーによって情報OSDを有効にすることが出来ます。

## 2. Network

### [IP & Port]

The screenshot shows the 'Network' configuration page with the 'IP&Port' tab selected. The interface is divided into several sections:

- ローカル (Local):** IP Mode is set to '固定IP' (Fixed IP). Local IP is 192.168.10.100, Local Gateway is 192.168.10.1, and Local Subnet is 255.255.255.0.
- DNS:** The option '以下のDNSサーバーを使用する' (Use the following DNS servers) is selected. Preferred DNS server is 8.8.8.8 and alternate DNS server is 8.8.8.8.
- IPv6:** IPv6 Address, IPv6 Subnet Prefix Length (0), IPv6 Default Gateway, and IPv6 LinkLocal (fe80::21c:63ff:fed7:22e:f64) are shown.
- ポート (Port):** Basic port (2222), HTTP port (80), HTTPS port (443), RTSP port (554), and Audio Receive Port (2280) are configured with their respective ranges.
- MTU Size:** MTU Size is set to 1500 (default: 1500, 68-).
- マルチキャスト (Multicast):** Multicast IP is 224.10.0.0 (range: 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255) and TTL is 64 (range: 1~255).

A '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the configuration area.

#### ➤ ローカル

IPモード: 固定IP 又は DHCPを選択します。

次のように選択したモードに応じて設定項目が変わります。

IP Mode	Selection	Description
固定 IP	ローカルIP	固定IPアドレス
	ローカルゲートウェイ	ゲートウェイ
	ローカルサブネット	サブネットマスク
DHCP	N/A	

➤ **DNS**

- DNSサーバーのアドレスを自動取得する  
IPモードがDHCPの場合にDNSサーバーのアドレスを自動的に取得するを選択可能。
- 以下のDNSサーバーを使用する  
優先/代替DNSサーバーのアドレスを指定可能。

➤ **IPv6**

- **IPv6 Address:** 指定されたIPv6アドレスを入力してください。
- **IPv6 Subnet Prefix Length:** IPv6サブネットのビット番号を入力してください。
- **IPv6 Default Gateway:** 指定されたIPv6ゲートウェイを入力してください。
- **IPv6 Link Local:** IPv6 リンクローカルを表示します。

➤ **Port**

➤ **Base Port (1025~65535)**

基本ポート番号を入力してください。

基本ポートはリモートクライアントとの通信に使用します。カメラおよびリモートシステムを接続するためには、カメラ側およびクライアント側でポート番号を同一に設定する必要があります。

➤ **HTTP Port (80, 1025~65535)**

Webベースでの接続に使用するポート番号を入力します。

➤ **HTTPS Port (443, 1025~65535)**

HTTPS(セキュリティ保護のHTTP)での接続に使用するポート番号を入力します。

➤ **RTSP Port (554, 1025~65535)**

RTSPベースの接続に使用するポート番号を入力します。初期値は554です。

➤ **Audio Receive Port**

- エンコーダから音声送信に使用されるポート番号を入力します。初期値は2280です。

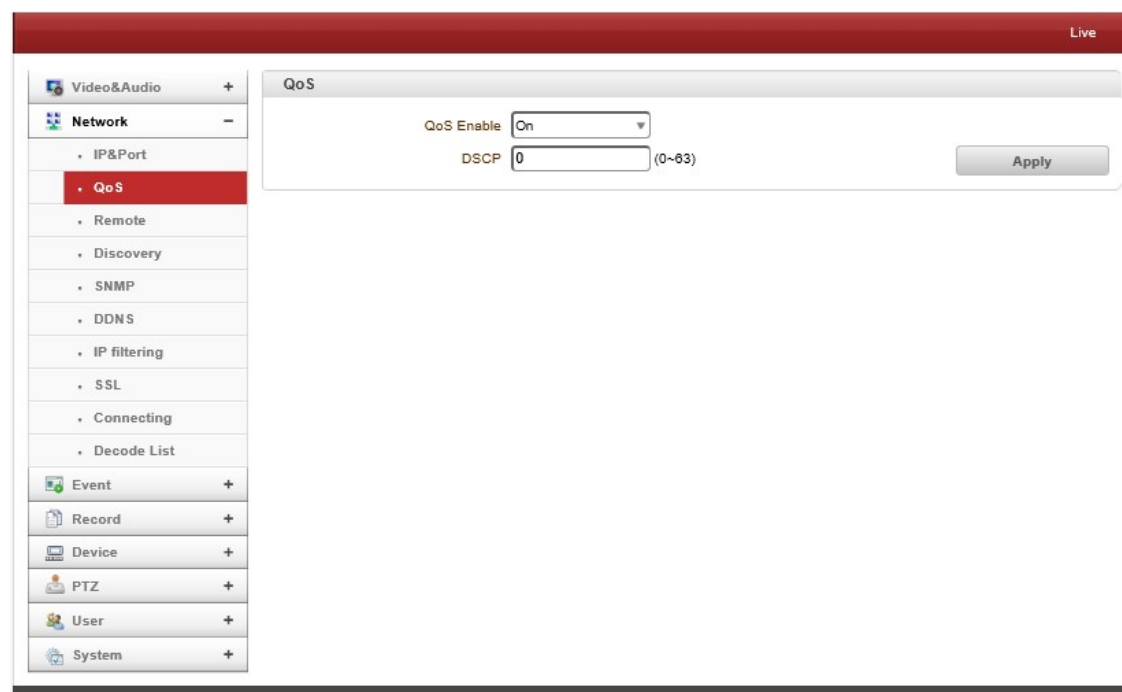
➤ **MTU Size**

- MTU(最大送信単位)は、単一のネットワーク層トランザクションで通信できる最大のプロトコルデータ単位のサイズです。デフォルト値は 1500 です。

➤ **Multicast**

マルチキャストメニューはデコーダのようなクライアントがVMSやNVRなどからマルチキャストモードで接続されている場合、メディアストリーム配信などに使用するマルチキャストアドレスを設定するために使用します。マルチキャストIPアドレスは 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255です。メディアプロトコルがマルチキャストに設定されている場合のみ使用することができます。

## [QoS]



QoS（サービス品質）は、ネットワーク上の選択されたトラフィックに対して、指定されたリソースの一定レベルを保証します。QoS 対応ネットワークはネットワーク トラフィックに優先順位を付け、帯域幅とアプリケーションが使用できる量を制御することでネットワークの信頼性を高めます。DSCP（Differentiated Services Codepoint）値を使用して、ビデオ サーバーはライブ ビデオ、イベント/アラーム トラフィック、管理トラフィックの種類のトラフィックをマークできます。

## [リモート]

**エンコーダやIPカメラのアドレスを設定して映像送り出し側と接続してデコーダとして機能させる設定**（プロトコルやポートも設定します）

- **Remort Type Normal**（特定のエンコーダと接続するモード）

エンコーダHVS-3000・HVS-3000H・UHVS-9500とデコーダUHVS-1700と接続するモード  
（デフォルトポート:2222）

- **Remote Type RTSP**

RTSP: デコーダシステムは、RTSPプロトコルで接続し、RTPでストリームを取得することができます。他社ベンダーのIPカメラを接続する事が可能なRTSP/RTP 及び 標準的なH.264アルゴリズムです。RTSP接続を行うには、リモートタイプをRTSPに設定し、Remote アドレスにリモートシステムのRTSP URLを、RemoteポートにRTSPアクセスポート番号を入力します。現在、ビデオのみ対応しています。

- **Remote Type RTP**

RTP(リアルタイムトランスポートプロトコル)は、IPネットワーク上でオーディオやビデオを配信するためのネットワークプロトコルです。RTPは通常UDP上で動作します。

RTP接続を行うには、リモートタイプをRTPに設定し、リモートアドレスにリモートシステムのRTP URLを (rtsp://ID:PW@IPアドレス/video1\_audio1)、RTPアクセスポート番号をリモートポートに入力してください。ポート番号とビデオ解像度はリモートシステムと一致させる必要があります。

- **Remote Type MPEG-TS**

MPEG-TSは、サーバからクライアントへオーディオ/ビデオパケットをブロードキャスト方式で伝送する方法の一つです。配信されるのはUDPパケットのみです。

リモートタイプをMPEG-TSに設定し、アドレスに相手システムのIPアドレスを入力します。

ポート番号は、リモートシステムと一致させる必要があります。

### ➤ Remote Type ONVIF

ONVIF (Open Network Video Interface Forum)を選択し、リモートシステムのIPアドレスを入力します。

アドレス欄にリモートシステムのIPアドレスを入力します。

ポートに80を入力し(ONVIFはHTTPで接続)、リモートID、パスワードを入力します。

Get Profile Listをクリックし、Profileを選択します。ONVIFでは、PTZ制御も可能です。

### ➤ Remote Type RTMP

RTMPはYoutube、Facebook、Wowzaなどのストリーミングサーバーを介してメディアを伝送する一方法です。

アドレスにはDestination IP/Stream Nameを入力します。

送信先IPアドレスとストリーミングサーバーで確認できます。

### ➤ Remote Type SRT

SRTはオープンソースのビデオトランスポートプロトコルと技術スタックで、予測不可能なネットワークでのストリーミングパフォーマンスを最適化し、安全なストリームと容易なファイアウォールトラバーサルを実現することにより、最高の品質のライブ映像を最悪のネットワーク上で提供します。

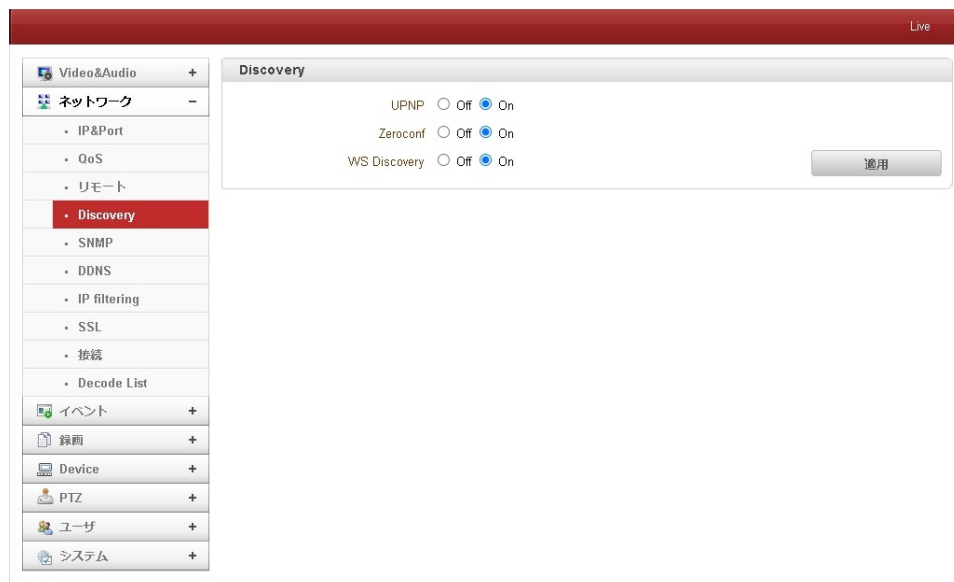
Listener: SRTストリームは、サーバー(デコーダ)の様に動作し、クライアントが接続するのを待ちます。

Caller: SRTストリームは、クライアントの様に動作し、サーバーに接続し着信を待ちます。

Destinationポート: SRTストリームのUDPデスティネーションポートを指定します。

Secure: AES暗号化を有効にし、鍵の長さを指定します。(None、AES128、AES256のいずれか)。

## [Discovery]



### ➤ UPNP

UPNPをONに設定することで、UPNP(UPNP技術)プロトコルに従ったクライアントによる検出を可能にします。

### ➤ Zeroconf

ZeroconfをONに設定することで、zeroconfプロトコルに従ったクライアントによる検出を可能にします。

## ➤ WS Discovery

webサービスに基づくディスカバリー機能は有効になります。OnvifをサポートしているクライアントSWによる検出を可能にします。

## [SNMP]

The screenshot shows the SNMP configuration interface. The sidebar on the left includes categories like Video&Audio, ネットワーク (Network), イベント (Events), 録画 (Recording), Device, PTZ, ユーザ (Users), and システム (System). Under ネットワーク, options include IP&Port, QoS, リモート (Remote), Discovery, **SNMP**, DDNS, IP filtering, SSL, 接続 (Connection), and Decode List. The main panel for SNMP has the following settings:

- SNMP Listen Port: 0 (Range: 0, 161, 1025-65535)
- SNMP Trap Destination IP: 0.0.0.0
- SNMP Trap Destination Port: 162 (Range: 0, 162, 1025-65535)
- SNMP Version: 2c

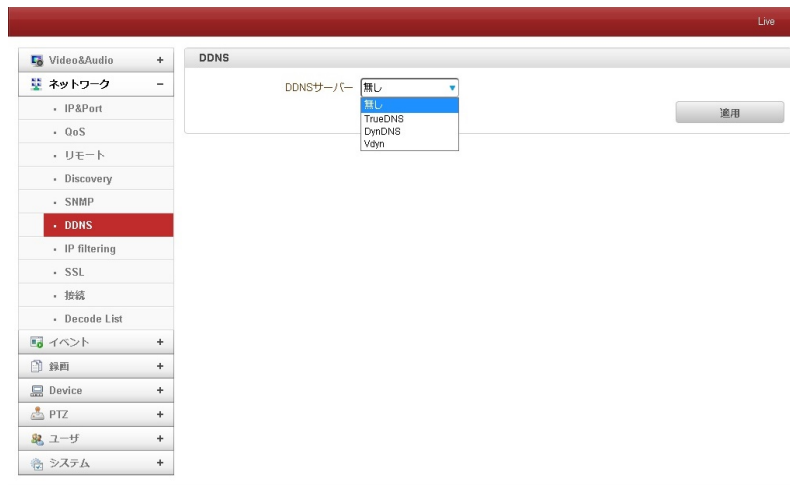
An '適用' (Apply) button is at the bottom right of the configuration area.

SNMP（簡易ネットワーク設定管理プロトコル）を使用するための設定です。

これはSNMPv1 と SNMPvecの両方に対応しています。

SNMPを使用するための設定は以下の通りです。

- **SNMP Listen ポート (0, 161, 1025 ~ 65535)**  
SNMPクライアントとしてシステムが動作するとき、外部デバイスを接続するために、これらのポートを使用します。SNMPを0に設定すると、使用しません。
- **SNMP Trap Destination IP**  
SNMP Trapの送信先のIPアドレスです。
- **SNMP Trap Destination Port (0, 162, 1025 ~ 65535)**  
SNMP Trapの送信先ポートを設定します。SNMPを使用しない場合は0にします。
- **SNMP Version**  
SNMPバージョン1、2C、3のいずれかを選択します。

**[DDNS]**

DDNS (Dynamic DNS)サーバーを使用する場合に選択します。

➤ **TrueDNS**

TRUEN社のTrue DNSサービスを使用するモードです。ウェブサイト<http://ns1.truecam.net>で登録することが出来ます。システムはxxx.truecam.netのドメイン名を取得します。

**DynDNS**

Dyn DNSサービスを使用するモードです。詳細については[www.dyndns.org](http://www.dyndns.org)を参照してください。使用する場合は ID・パスワード・ドメイン名 が必要です。

➤ **Vdyn**

VdynはVisionica (<http://visionica.com>)が提供するDDNSサービスです。MACアドレスを使用しているため、選択のみで特に設定は必要ありません。登録に成功するとネットワークページの現在のドメインのエントリに登録されます。電子メールの設定は必須ではありません。

➤ **Check IP Disable**

“Check IP Disable”にチェックを入れた場合にはIPチェックがスキップします。

固定IPモードでは設定されたIPはDDNSサーバーに設定されたIPが登録されます。DHCPモードでは動的に割り当てられたIPがDDNSサーバーに登録されます。通常はネットワーク内のパブリックIPアドレスを得るために **Check IP Disable** はチェックしないで下さい。

## [IP filtering]

Live

Video&Audio +

ネットワーク -

- ・ IP&Port
- ・ QoS
- ・ リモート
- ・ Discovery
- ・ SNMP
- ・ DDNS
- ・ IP filtering
- ・ SSL
- ・ 接続
- ・ Decode List

イベント +

録画 +

Device +

PTZ +

ユーザ +

システム +

### IP Filtering Setup

Basic Policy: Allow all

Below IP list is not allowed to access.

No.	From	To	有効
1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
11	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
12	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
13	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
14	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
15	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
16	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
17	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
18	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
19	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
20	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>

適用

**Basic Policy**

Allow all 又はDeny allを選択。

Allow all 設定したIPアドレスをフィルタリングします。

Deny all 設定したIPアドレス以外をフィルタリングします。

## [SSL]

The screenshot shows the SSL configuration page in the 4K Video Server web interface. The sidebar on the left contains the following menu items: Video&Audio (+), Network (-), IP&Port, QoS, Remote, Discovery, SNMP, DDNS, IP filtering, SSL (highlighted in red), Connecting, Decode List, Event (+), Record (+), Device (+), PTZ (+), User (+), and System (+). The main configuration area is titled 'SSL' and contains the following fields: SSL Enable (dropdown menu set to 'Future'), User ID (text input field), Password (text input field), Protocol (dropdown menu set to 'tcp'), VPN IP Address (text input field), VPN Port (text input field set to '0'), and Key Algorithm (dropdown menu set to 'SEED'). An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area.

### ➤ SSL 有効

OFF 又は Future を選択します。Future を選択すると SSL-VPN が有効になります。

### ➤ ユーザー ID

VPN Client のユーザーID を入力

### ➤ Password

VPN Client のパスワードを入力

### ➤ Protocol

TCP 又は UDP を選択

### ➤ VPN IP アドレス

VPN の IP アドレスを入力

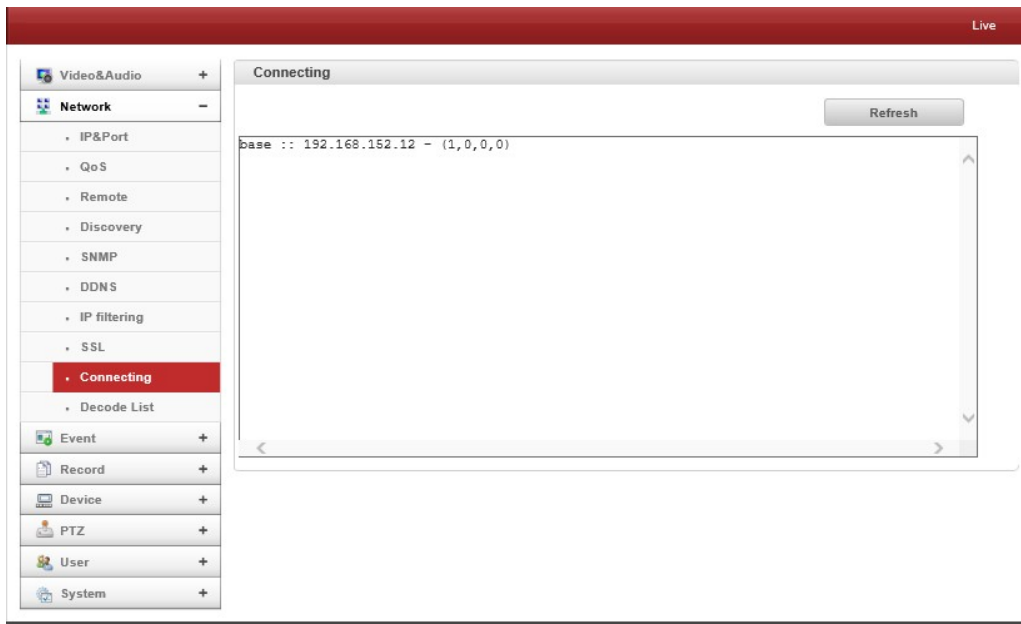
### ➤ VPN ポート

VPN のポートを入力

### ➤ Key Algorithm

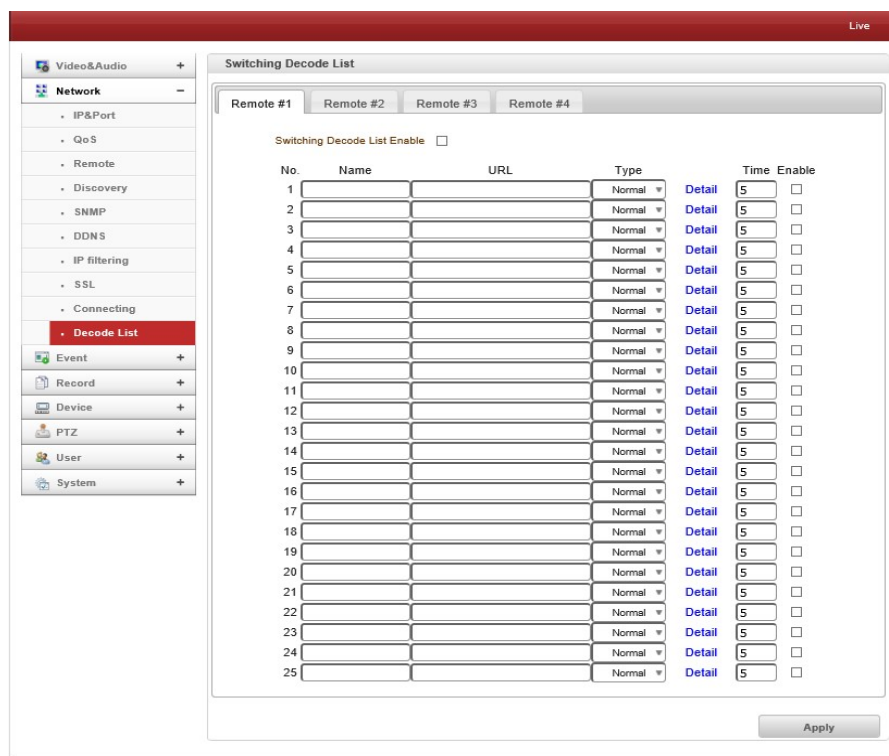
キーアルゴリズムを選択

## [Connecting]



現在システムに接続されているクライアント IP アドレスがリストされます。

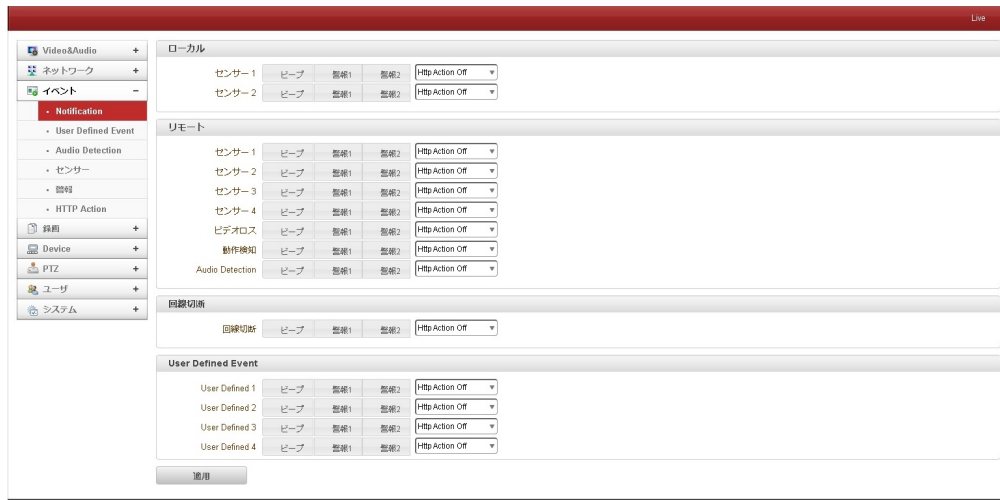
## [Decode List]



デコーダは RTSP URL を自動的に変更します。エンコーダから自動的にストリームを取得できますEvent

## 3. イベント

### [Notification]



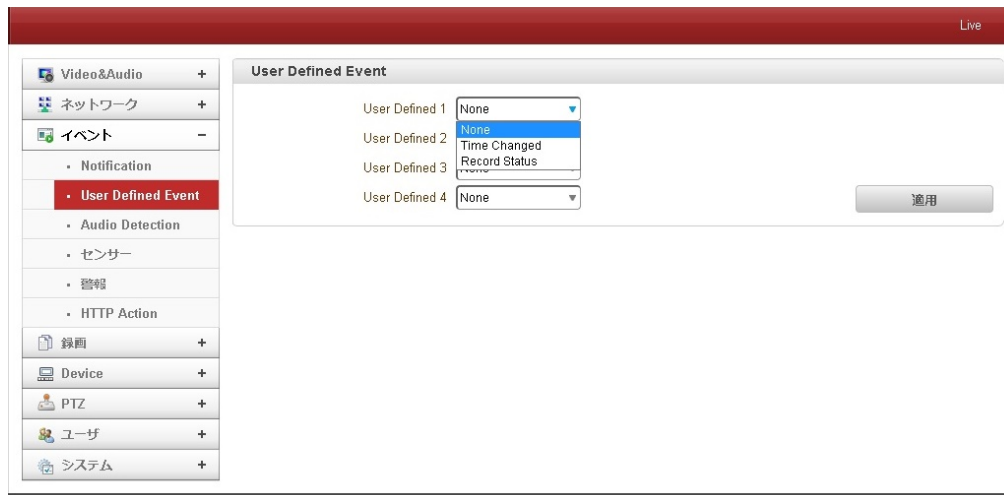
#### ➤ リモート

次の表は、イベントで可能なアクションの一覧です

Action	Description
Beep	ビーブポートのトリガー。
Alarm out	アラーム(リレー)ポートのトリガー

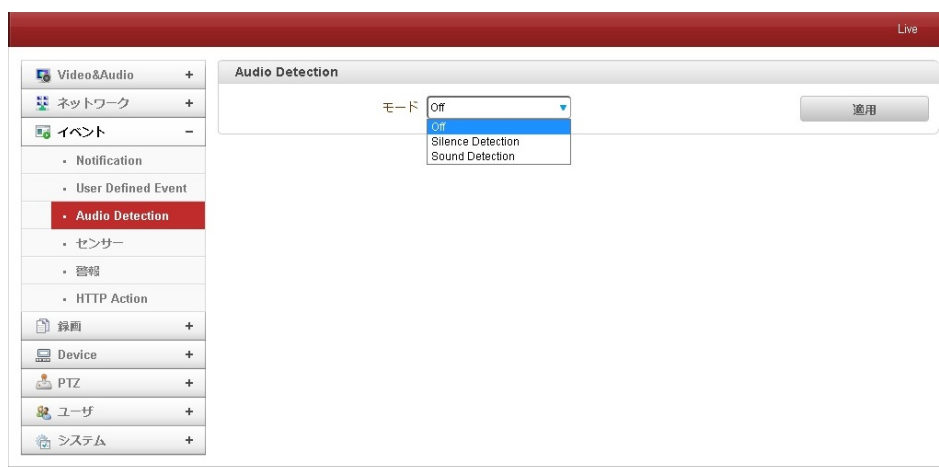
- **Sensor1 ~ Sensor4**  
センサーが動作した時のアクションを設定します。
- **ビデオロス**  
映像入力信号が失われた時のアクションを設定します。
- **動作検知**  
モーションが動作した時のアクションを設定します。
- **Audio Detection**  
音声検知が動作した時のアクションを設定します。
- **回線切断**  
通信が切断或いは断続時のアクションを設定します。
- **User Defined Event**  
ユーザー定義イベントが発生したときのアクションを設定できます。

## [User Defined Event]



Notificationで設定したユーザー定義イベントを定義する為選択します。

## [Audio Detection]



音声ロスのイベントを設定できます。

## [センサー]

センサータイプを選び、トリガーを付与する事ができます。

### ➤ センサータイプ

センサー毎に『OFF』、『N/O』、『N/C』が選択出来ます。(デフォルトはN/Oになります。)

### ➤ スケジュール表

スケジュール表:センサーON時のスケジュールを指定できます。

## [警報(アラーム)]

イベントが発生した場合アラーム又はビープ音がONになる継続時間を設定します。

連続に設定されている場合は、オペレータが手動でリセットするまで状態は継続されます。

## HTTP Action

イベントに応じてHTTP APIで他のデバイスをコントロール可能です。

No.	String	Auth Type	ID	PW	有効
1.		None			<input type="checkbox"/>
2.		None			<input type="checkbox"/>
3.		None			<input type="checkbox"/>
4.		None			<input type="checkbox"/>

※NotificationでHTTP APIを選択 有効にする必要があります。

## 4. 録画

### [全般(General)]



#### ➤ 録画をする

「Off」又は「Use Disk」を選択します。

※「Off」を選択すると録画機能を使用する事は出来ません。

「Use Disk」を選択すると、設定されたスケジュール表に従ってUSB接続されたストレージへ録画されます。

#### ➤ Manual record

「ON」が選択されると録画スケジュールに関係なく操作できます。

#### ➤ 上書き

ディスクがいっぱいになると古いデータから自動的に削除されます。

#### ➤ 最大保存容量 / Max File Length

最大保存容量は 作成される映像ファイルサイズを制限する為のものです。小さいファイルサイズが設定されている場合、容量は小さくなり、ファイル数が増加します。

Max File Lengthは 映像ファイルを時間長で制限します。

※映像ファイルのサイズが最大保存容量又はMax File Lengthのどちらか制限に達した時点で映像ファイルが作成されます。

#### ➤ Record File Format

AVI又はMP4のどちらか選択できます。

## [Schedule]

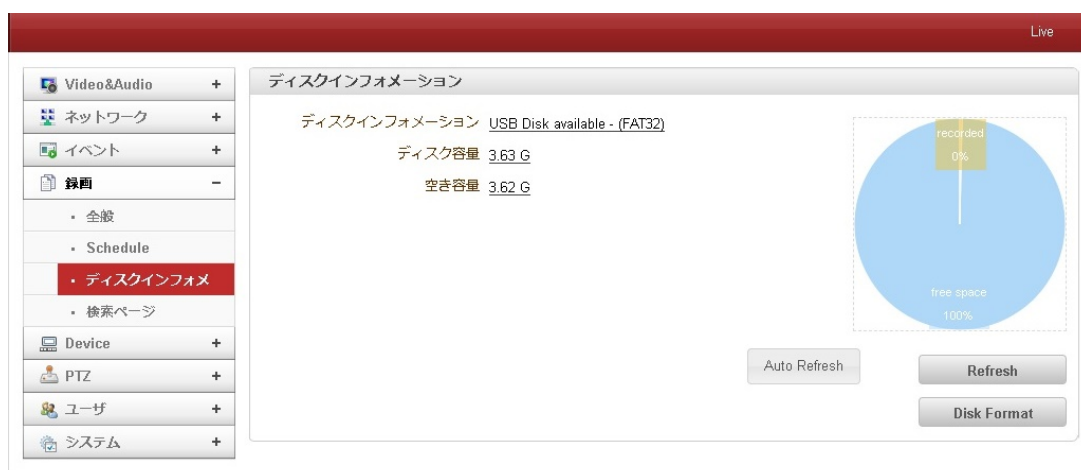


### ➤ スケジュール表

曜日と時間によって構成されたテーブルを選択して黒色に塗られた部分が録画され、灰色の部分は録画しない設定となります。選択で録画停止を選択している場合、灰色に塗りつぶされ、連続録画が選択されている場合は、黒色に塗りつぶされます。

## [ディスクインフォメーション]

USBメモリを使用する事ができます(少なくとも1GB以上のサイズを推奨します)。EXT3 又は FAT32ファイルで使用します。EXT3 又は FAT32ファイルシステムのいずれかを有するディスクはLinux PC で読み取り可能です。FAT32ファイルに関してはWindows PCで読み取り可能です。ビットレート(最大)4000Kbps以下の場合であってもコマ落ちが発生する可能性があります。これはUSBメモリの性能限界に起因するものですのでUSBメモリ録画と他にレコーダー等で同時記録する事をお勧めします。



USBメモリを挿入した後、システムを再起動して下さい。

ブート時にシステムがディスク状態を読み取ります。

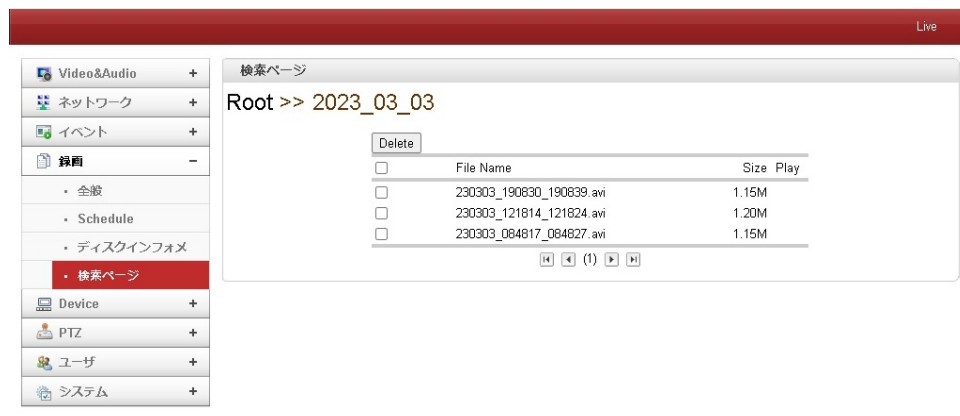
Disk status	Description(記述)
Disk error detected	エラーを検知しました。
No disk	ストレージがUSBに接続されていません。
Searching Disk information	ストレージのステータスを検索中です。表示されるまでお待ちください。
Mounting and Recovering disk	ストレージにダメージがあり、記録プロセスを回復させています。 回復に数分かかります。
Disk format needed	ストレージがフォーマットされていない。
Unknown disk type detected	ストレージのファイルシステムが非対応の形式か、破損しています。
USB Disk available	ストレージが使用可能です。
Disk removed or in abnormal state	ストレージが取りはずされた。又は使用できる状態にない。

## 検索ページ(Search Page)



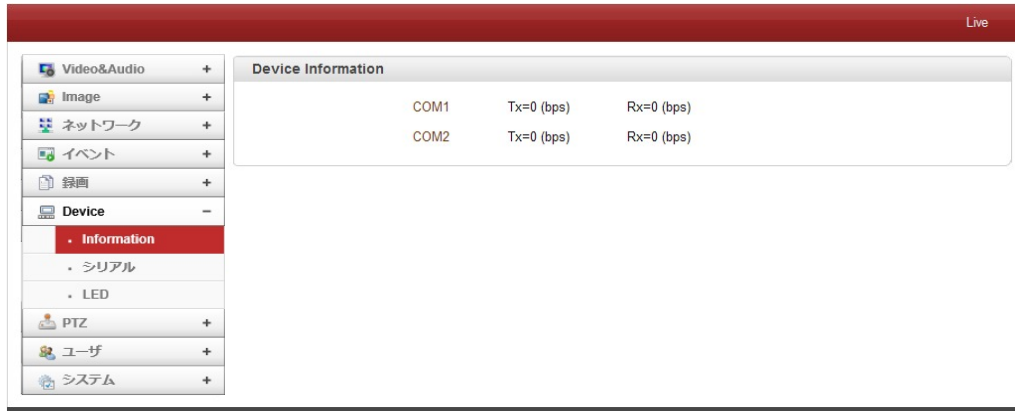
ストレージに記録された映像データを検索再生します。

見たい日付を選ぶと、その日に作成された映像データファイルの一覧が表示されます。その中から再生したいファイルを選び再生します。



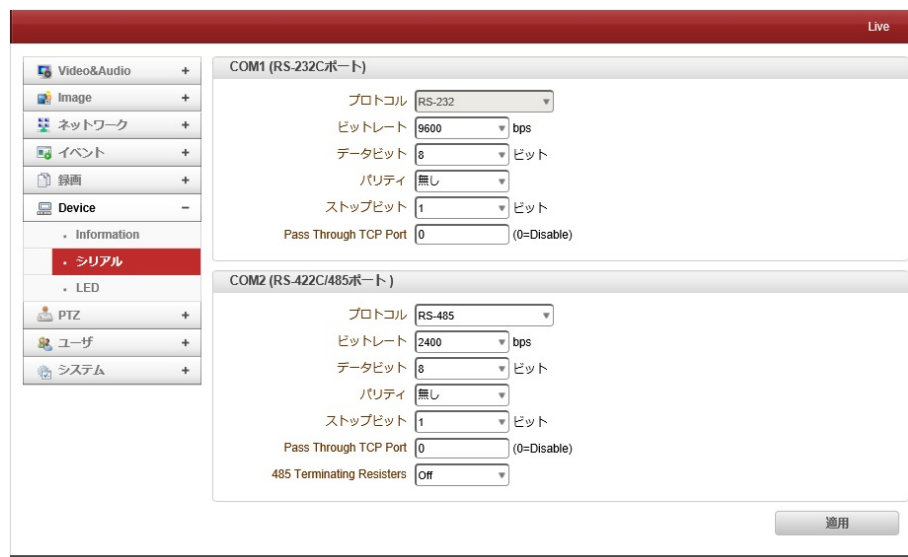
## 5. デバイス

### [Device information]



現在のシリアル通信状態が表示されます。

### [シリアル]



- シリアル プロトコル: RS-232, RS-422/485のシリアルポートがあります。COM2 RS-422/RS-485ポートはRS-422又はRS-485のどちらか一方を選択出来ます。
- シリアルポート設定: ビットレート、データビット、パリティ、ストップビット、Pass Through TCP Port
- 485 Terminating Resistorsを設定出来ます。

## 6. PTZ

### [全般]

The screenshot shows the PTZ configuration page. The sidebar on the left has '全般' (General) selected. The main panel contains the following settings:

- PTZタイプ: Pelco-D
- PTZポート: COM2
- ONVIF PTZ Type: ONVIF PTZ
- PTZ Remote Select: All Remote
- PTZ ID Remote #1: 1
- PTZ ID Remote #2: 1
- PTZ ID Remote #3: 1
- PTZ ID Remote #4: 1
- Display Change By Aux Command: Disable

#### ➤ PTZ タイプ

PTZカメラの制御信号のプロトコルを選択出来ます。

#### ➤ PTZ ID

単一の制御ラインを介して複数のPTZカメラ又は受信機を制御する事が出来ます。

各カメラ又は受信機は固有のIDが割り当てられます。制御用のカメラや受信機のPTZ IDを入力します。ID値の範囲は0～255です。

#### ➤ PTZ ポート

PTZカメラ制御用のシリアルポートが選択出来ます。

#### ➤ ONVIF PTZ Type

ONVIF PTZ又はONVIF Serialの選択をします。

#### ➤ PTZ Remote Select

『ONVIF PTZ』選択時、ディスプレイ表示の選択をします。

#### ➤ Display Change By Aux Command

『ONVIF PTZ』選択時Auxコマンドを使用するかしないかの選択をします。

## [プリセット]



最大128のプリセット位置を指定する事が出来ます。

### ➤ プリセット番号選択

プリセット番号を選択できます。

選択したプリセット番号設定位置へカメラの移動及び設定が可能です。

### ➤ フォーカスモード設定

Do not Change(固定)、Focus Auto(自動)、Focus Manual(手動)が選択できます。

### ➤ Event Holding Time

イベントによってカメラポジション変更後、何秒たったら自動で元の位置に戻すか設定します。

本設定が 0 に設定されている場合、カメラはイベントによって移動した後、すぐに元の位置に戻ります。

### ➤ ラベル編集

プリセット位置にラベルを割り当てる事が出来ます。

最初の15プリセットエントリ(プリセット1~15)へラベルを付ける事が出来ます。

## 7. ユーザ

### [ユーザーリスト]



ユーザーの登録と権限レベルを指定出来ます。ユーザー設定は「admin」のみに許可されます。  
最大16ユーザーの登録が可能で、各ユーザーが4つ権限を持つ事が出来ます。

権限	許可された操作	備考
Admin	全ての操作	User ID = admin
Manager	ユーザー構成を除く全ての操作	
User	Live閲覧とPTZコントロール	
Guest	Live閲覧のみ	

#### ➤ ユーザー追加

「追加」ボタンを押して次のウィンドウが表示します。

ユーザーIDとパスワード(最大15文字)を入力し、権限レベルを選択します。

#### ➤ ユーザーの削除

削除したいユーザーを選択し、「削除」ボタンを押してください。

### ➤ パスワード変更

変更したいユーザーを選択し、「パスワード変更」ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

パスワード変更

ID

現パスワード

新パスワード

パスワード確認

現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを設定して下さい。

### ➤ 権限レベルの変更

ユーザーの権限レベルを変更するには、『権限レベルの変更』ボタンを押して下さい。管理ユーザーの権限レベルを変更する事は出来ません。

ユーザー権限レベル変更

ID

ユーザー権限レベル

## [ログインポリシー]

Live

ログインポリシー

認証類型  Basic  Digest

ログイン省略  Off  On

ログインスキップ後のユーザー権限レベル

認証

RTSP 認証  Off  On

HTTPAPI 認証  Off  On

Login Failure Process

Number of Login failures Allowed

### ➤ ログインポリシー

RFC 2617(HTTP認証: BasicおよびDigestアクセス認証) がサポートされています。

### ➤ 認証

RTSP認証及びHTTP APIの認証が必要な場合設定できます。

### ➤ Login Failure Process

ログイン失敗時の回数を制限することができます。

## 8. 録画

### [Information]



### [System Information]

- **モデル**  
機種名を表示します。
- **バージョン**  
ファームバージョンを表示します。
- **OpenSSLバージョン**  
現在のOpenSSLバージョンを表示します。
- **MACアドレス**  
カメラのMACアドレスを表示します。  
DDNSサーバーへの登録時にはMACアドレスが使用されます。
- **現在のアドレス**  
現在のIPアドレスを表示します。
- **現在のドメイン名**  
DDNSサーバーに登録されている場合に、登録されたドメイン名が表示されます。

## [Upgrade & Reboot]

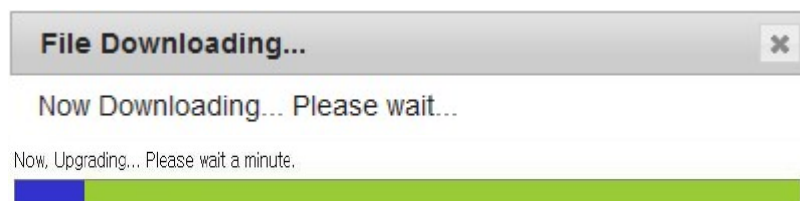
### ➤ ファームウェア

➤ **バージョン**: 現在のファームウェアバージョンが表示されます。

**アップグレード**: ファームウェアのアップグレードが可能です。

1. ファイルの選択をクリックして、アップグレードするファームウェアファイルの保存ディレクトリを選択します。
2. ファームアップをクリックして、アップグレードを開始します。
3. ステータス(ダウンロード中/アップグレード中)が表示されます。
4. デコーダは、アップグレードの終了後、自動的に再起動します。

※ アップグレード中にデコーダの電源を切らないで下さい。



➤ **Config Backup & Restore** (設定のバックアップと復元)

➤ **Backup**

Config Backupをクリックすると全ての設定を保存したバックアップファイルが作成されます。

➤ **Restore**

ファイル選択をクリックして、復元したいバックアップファイルの保存ディレクトリを選択します。

Config Restoreをクリックするとデコーダが再起動し、再起動後反映されます。

## ➤ リポート

リポートをクリックするとデコーダが再起動します。

## ➤ 工場出荷時設定

- 工場出荷時設定をクリックするとユーザーアカウント、ログを含むすべての設定をクリアします。

Exclusions Itemでクリアしたくない設定を除外できます。

除外できるのは、ネットワーク、プリセット、ユーザーリストです

**※リセットボタン及び工場出荷時の設定に戻した場合はパスワードが1234になります。**

## ➤ SSL Certificates Upload

- SSL証明書のダウンロードが可能です。

## [時刻]

The screenshot displays the '時刻' (Time) configuration page. On the left is a sidebar menu with options: Video&Audio, Image, ネットワーク, イベント, 録画, Device, PTZ, ユーザ, システム (expanded to show Information, Upgrade&Reboot, 時刻, OSD, 言語, Log). The main content area is titled '時刻' and contains the following settings:

- システム起動時刻: 2020/10/02 9:34:14
- 現在時刻: 2020/10/02 18:17:09
- Set Time: 2020/10/02 18:17:08 (with a '現在時刻設定' button)
- タイムフォーマット: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- タイムゾーン: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
- NTPサーバー自動同期
- NTPサーバー名: pool.ntp.org (with an '適用' button)

## ➤ システム起動時刻

デコーダの直近の起動した時刻です。

## ➤ 現在時刻

現在の時刻です。

## ➤ Set Time

年/月/日/時/分を合せ『現在時刻設定』をクリックすると日時を変更できます。

## ➤ タイムフォーマット

時刻の表示形式を選択できます。選択可能な時刻表示形式は以下の通りです。

- I. YYYY/MM/DD hh:mm:ss (例. 2023/10.30 12:30:45)
- II. DD/MM/YYYY hh:mm:ss (例. 30/10/2023 12:30:45)
- III. MM/DD/YYYY hh:mm:ss (例. 10/30/2023 12:30:45)
- IV. Mmm/DD/YYYY hh:mm:ss(例Oct/30/2023 12:30:45)

## ➤ タイムゾーン

カメラ導入先のタイムゾーンを選択します。

タイムゾーンによっては、サマータイムが自動的に動作します。

日本国内では (GMT+09:00)Osaka,Sapporo,Tokyo) を選択します。

## ➤ NTPサーバー自動同期

チェックを入れると、NTP(ネットワークタイムプロトコル)サーバにアクセスしてデコーダの時刻を同期します。

## ➤ NTPサーバー名

同期するNTPサーバの名前を登録して下さい。

## [OSD]



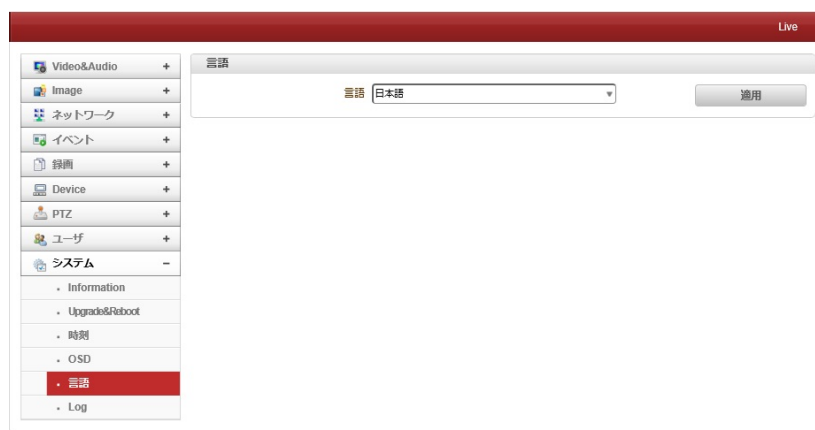
## システム ID

例えばデコーダの識別番号9876をシステムIDに登録すると

表示例:  9876 

設定したシステムIDがWEBブラウザ上で表示されます。

## [言語]



設定画面で使用する言語を選択できます。弊社出荷時に日本語で設定済みです。

## LOG

The screenshot displays the 'LOG' section of the 4K Video Server interface. On the left is a navigation menu with categories like Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'System' category is expanded to show sub-items: Information, Upgrade&Reboot, Time, OSD, Language, and Log (which is selected and highlighted in red).

The main area is divided into three sections:

- System Log:** A scrollable text area containing system events such as 'SYSTEM Started', 'ACCOUNT Changed Password', 'SYSTEM Reboot', and 'ENV Recording Changed'. Below the log is a filter bar with checkboxes for Backup, Account, Environment, System, PTZ, and Etc. Buttons for 'Get System Log', 'Save System Log', and 'Delete System Log File' are located at the bottom right of this section.
- User Log:** A scrollable text area showing user login events, including 'USER Login success' and 'USER Login failure'. Buttons for 'Get User Log', 'Save User Log', and 'Delete User Log File' are at the bottom right.
- Save Log Option:** A table with two columns: 'Include' and 'Exclude'. Each row has a radio button to select whether the log item should be included or excluded. An 'Apply' button is at the bottom right.

	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

システムログとユーザーログを確認できます。ログに残す項目を選択できます。

## 4. LIVE VIEWについて

### ● ブラウザGoogle Chromeを用いた映像表示方法

Google Chromeを起動し、デコーダのIPアドレスをアドレスバーに入力してください。

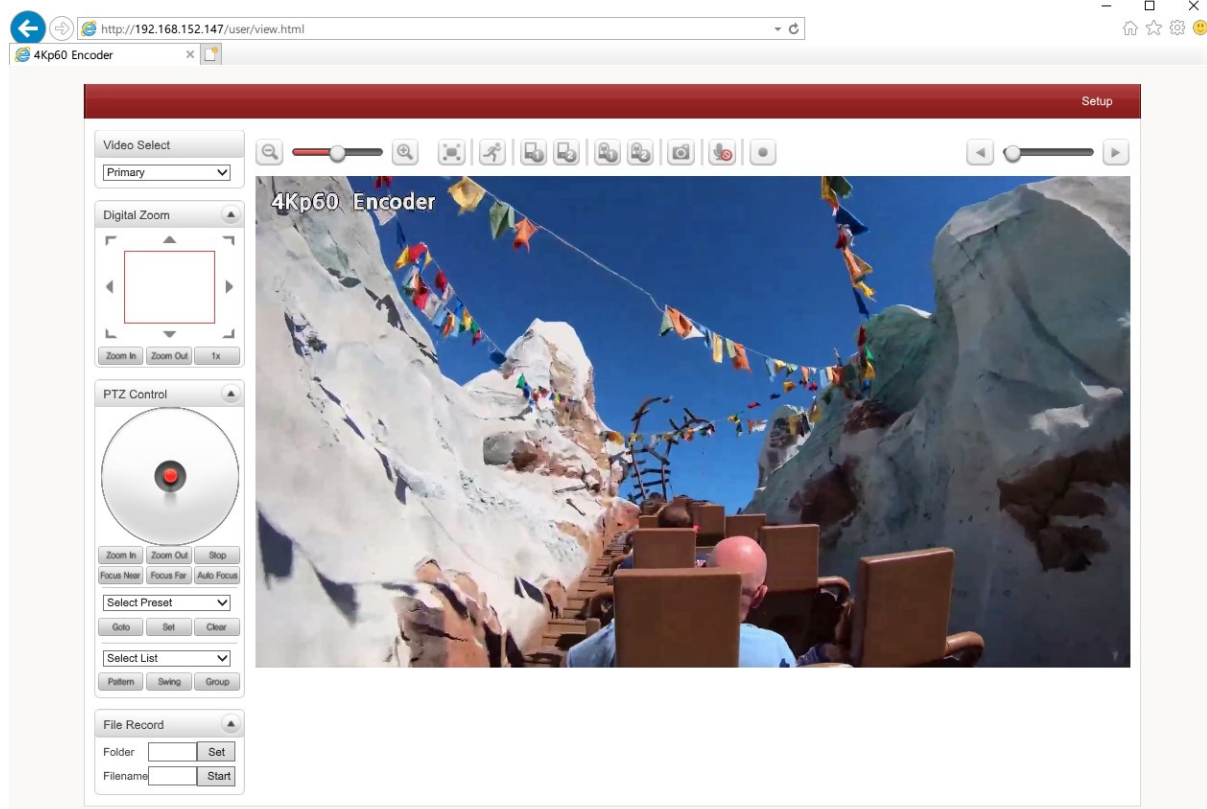
- 弊社出荷時初期 IPアドレス:192.168.10.100

IDとパスワードを入力するウィンドウがポップアップしますのでID/パスワードを入力してください。

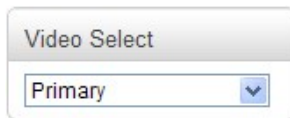
- 弊社出荷時初期 ID:admin
- 弊社出荷時初期 パスワード:Admin1234

**※リセットボタン及び工場出荷時の設定に戻した場合は  
パスワードが1234になります。**

Google Chromeに映像が表示されます



## 映像選択



表示するビデオストリームを選択します: プライマリ、セカンダリ、ターシャリ、クオールティーク

ビデオサーバは、プライマリストリーミングとセカンダリストリーミングのデュアルストリーミングが可能です。映像はビデオの設定項目で設定された解像度に応じて表示されます。デュアルストリーミング(ビデオ設定メニュー<デュアルエンコード使用)が選択されていない場合、セカンダリビデオは利用できません。

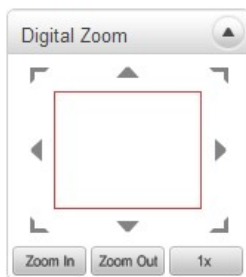
## 表示サイズ



映像の表示ウィンドウのサイズを調整します。

スクリーンサイズは、解像度に応じて調整されます。

## デジタルズーム



画面上のデジタルズームを操作します。

ズームは、小さい正方形のコントロールパネルで行います。画像の位置は、正方形の位置を移動させる事によって変更する事ができます。x1 をクリックすると、画面は通常のサイズに戻ります。

## PTZ コントロール(光学ズーム&デジタルズーム内蔵カメラ)



PTZコントロールパネルは、ビデオサーバのシリアルポートを介して接続された外部PTZデバイスの制御に使用します。PTZコントロールパネルのズームイン/アウトボタンによって、ズーム制御を行う事ができます。

(デジタルズームを使用するには、カメラタブのデジタルズームONを選択)

## Stop

進行中の動作を停止します。

## Focus Near, Focus Far, Auto Focus

フォーカスの調整を行います。

## プリセット選択



プリセット位置を設定し、特定のプリセット位置に移動します。

### Goto

プリセット番号に登録されている場合、選択した位置に移動します。

### Set

選択したプリセット番号に現在位置を登録します。

### Clear

選択したプリセット番号の登録を削除します。

## センサー入力とアラーム出力



リアルタイムでセンサーの状態を表示します。

このカメラは、1センサー入力をサポートしています。カメラセンサーが動作している時、センサーライトが赤色に変わり、番号アイコンを押して警報装置を操作します。このカメラは、1つのアラーム出力をサポートしています。番号のアイコンが警報装置の状態を示します。

## スナップショット



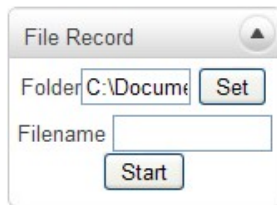
スナップショットイメージをキャプチャし、BMPまたはJPEG形式のファイルとして保存します。

## トーク



マイク音声を転送します。

## ファイルレコード



ライブビューページで AVI ファイルを生成できます。AVI ファイルの名称、保存先はWebブラウザが実行されているPC上で指定します。

1. フォルダを選択するか、新しいフォルダを作成し “Set” ボタンを押してください。“filename” 欄にファイル名を入力してください。
2. “Start” ボタンを押すと記録を開始します。
3. “Stop” ボタンを押すと記録を停止します。
4. AVI ファイルは “IPアドレス\_hh\_mm\_ss” 又は “ファイル名\_IPアドレス\_hh\_mm\_ss” という名前で、指定したフォルダに生成されます。

## 表示バッファ



Webブラウザ上に表示される前にバッファされるビデオのフレーム数を設定できます。レイテンシーを犠牲にする事により、スムーズなビデオで表示できます。一般的な状況では10～15フレームの設定で使用されます。

## IPアドレスの初期化

システムのIPアドレスを忘れた等でアクセスできなくなった場合、本体前面側にあるリセットボタンを使用することでIPアドレスを初期値に戻す事ができます。

システムの動作中に、STATUS LEDが緑色点滅から緑色点灯になるまで押し続け、はなすとIPアドレス及びID/PASSWORDがリセットされデコーダが再起動します。

※リセット後のID/PASSWORDはadmin/1234になります。

ログインするとパスワードを変更する入力画面が表示されます。

パスワード変更は必須なので1234以外のパスワードを入力する必要があります。

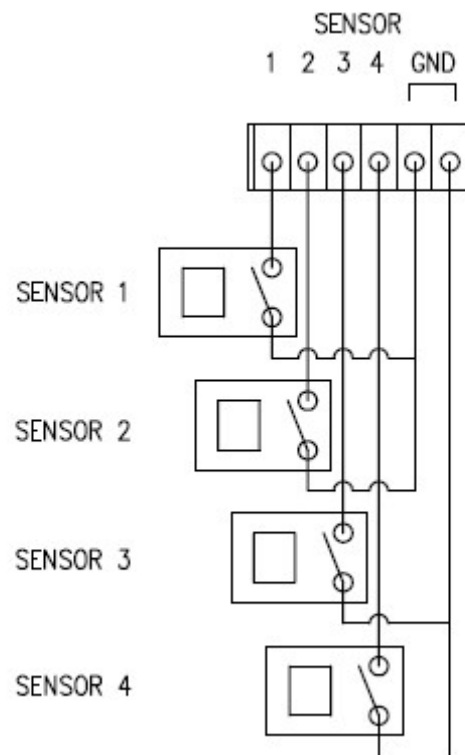
ネットワーク設定初期化後の値は下記の通りです。

● IP モード	Fixed IP	● IP アドレス	192.168.10.100
● サブネットマスク	255.255.255.0	● ゲートウェイ	192.168.10.1
● 基本ポート	2222	● HTTPポート	80

## 付録 A : センサーポートとアラームポート

### センサーポート

- 端子タイプ
  - 定格電圧: 150VAC
  - 定格電流 : 2A
  - 色 : 赤
- センサー信号入力タイプ
  - NO接点信号
- 外部デバイスへの接続

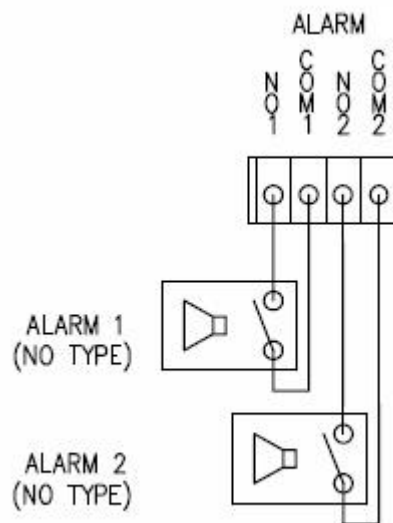
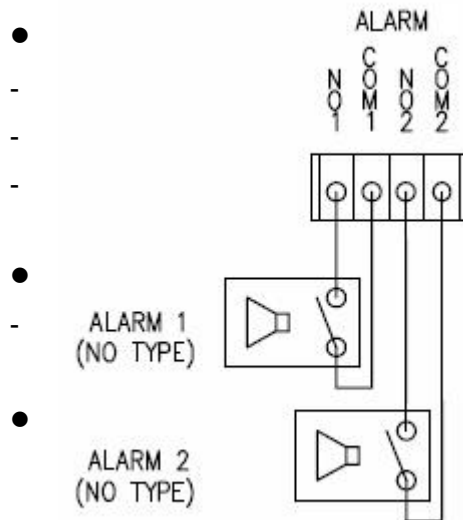


## アラームポート

- 端子タイプ

- 定格電圧: 150VAC

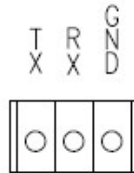
- 定格電流 : 2A



## 付録 B : シリアルポート

### RS-232 ポート

- ポートタイプ
- 3 ピン
- ピン配置



RS-232

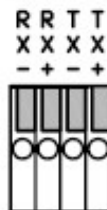
- ピン機能説明

Pin NO	Pin Name	Description
1	TX	RS232 TX(Transmit)
2	RX	RS232 RX(Receive)
3	GND	Ground

### RS-422/485 ポート

- ポートタイプ
- 4 ピン
- ピン配置

RS-422/485 TERMINALS



- ピン機能説明

Pin No.	Pin Name	Description
1	RX-	RS422 RX-
2	RX+	RS422 RX+
3	TX-	RS422 TX- or RS485 TRX- It is selectable by S/W Setup
4	TX+	RS422 TX+ or RS485 TRX+ It is selectable by S/W Setup

**機能に関するお問い合わせは  
株式会社STRASSE  
TEL03-3512-0888  
平日9:00~18:00**